

滋賀県は琵琶湖を中心に豊かな自然を有しており、生物資源の宝庫です。この資源の有効活用に着目してΣ研究センターと生物資源研究センターとの合同シンポジウムが立命館大学 BKC ローム会館で開催され、会員企業や一般企業及び学生等も含めて約130名の方々が参加されました。

日本最大の淡水湖である琵琶湖は今、富栄養化など従来の環境問題に加え、地球温暖化の影響など新たな課題に直面しています。そうした中で、改めて琵琶湖の歴史を振り返り、滋賀の薬用植物資源、瀬田シジミの水産業、また第6次産業に取り組んでいる企業の取組と本年度は、多角的な角度から琵琶湖への理解を深めるために、合同シンポジウムを開催しました。

- ◆開催日時 平成28年9月21日（水）13:00～17:30
- ◆開催場所 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス ローム記念館 3階及び5階
- ◆参加者 約130名
- ◆主催 立命館大学 琵琶湖Σ研究センター
立命館大学 生物資源研究センター
(公社)滋賀県環境保全協会

【プログラム】

第1部 ポスターセッション:立命館大学 研究生による研究テーマの発表(24件)
:ポスター出展企業、オリエンタル酵母(株)、キリンビール(株)
第一工業製薬(株)、(株)たねや、(株)日吉 他8社

第2部(講演会)

1、挨拶 立命館大学 生物資源研究センター副センター長 石水 毅氏
(生命科学部 准教授)

Ⅱ、基調講演「我が国の食料・農業・農村の動向を見る～平成27年度白書より」
農林水産省 大臣官房 広報評価課 情報分析室長 小山内 司氏

講演 1 「滋賀の薬用植物資源」薬学部 教授 田中 謙氏

講演 2 「瀬田シジミの現状」瀬田漁業協同組合 組合理事長 吉田 守氏

講演 3 「地域農業の発展に貢献するICT 農業の取組

～守山市冬メロン無加温12月収穫栽培技術の創出～

2、閉会挨拶 琵琶湖Σ研究センター長 久保 幹氏(生命科学部 教授)

ローム会館 「入り口案内板」



㈱日吉様 パネル展示



㈱たねや様 パネル展示



学生の研究テーマ発表風景



第2部基調講演「我が国の食料・」小山内 司氏



吉田瀬田漁業長「瀬田シジミの現状」



地域農業「守山冬メロン無加温取組」について

